

新しい年度を迎えました。この「ジオパーク通信」では、洞爺湖有珠山ジオパーク（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）の見どころ・楽しみどころ、最新のジオパーク情報をお知らせしていきます。

洞爺湖有珠山ジオパーク



ジオパークとは、ジオ（地球・大地）とパーク（楽しむところ）合わせた造語で、人工的に作られたテーマパークとは異なり、もともとの大地の特徴（海、山、湖等）を保全し、観光や教育に活用している地域一帯を指します。

洞爺湖有珠山ジオパークのエリアは、伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の全域。約 48,000 人が暮らすこの地域は、ユネスコ世界ジオパークに認定されています。

【ジオパーク】

ジオパークでは、地質的な見所のほか、そこで育まれた生態系や産業、歴史文化も構成要素です。これらを一つの物語とし、地域全体を楽しんでもらうようにすることがジオパークの目的です。

昭和火山は 1944～1945 に生まれた
新しい火山

なにがすごい地域なの？

世界の中でも、噴火を繰り返す活火山の近くに人が暮らし続けているということは珍しく、見どころの保全や、大地の変動を活かした教育活動が行われていることが高く評価されています。



数十年おきに噴火を繰り返してきた有珠山



約 11 万年前のカルデラ噴火でできた洞爺湖



海底火山の痕跡が見られる海岸



記録された火山の誕生を次世代に伝える



災害遺構散策路での減災教育



縄文時代からの人々の暮らし

ジオパークのエリア（1市3町）には、大地の見どころを楽しめる散策路や、魅力を紹介するガイド団体が活動しています。詳細は『洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会』HP をご覧ください。

